

1月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川：左右岸 6.2km～17.8km 管轄出張所：豊川流域治水出張所
実施日		実施区間	吉田大橋～賀茂橋



最近はこのように工事の概要を説明した看板が設置されている。地図やイラストが用いられており、とても分かりやすい。道路の施工範囲がちょうど霞の位置であることがわかる。



道路がこのような土盛りされている。ちょっとした堤防のようである。



堤防の延長線上に道路が造られる模様。堤防が延伸されるかのようだ。

沖野（豊橋公園から豊川に下り、城下橋で朝倉川を渡った一帯）で「豊川下条地区整備工事」が進行している。説明看板によれば、この工事は工事用道路を造るというもの。しかし、この道路は通常の堤防とつながる形で、ちょうど「牛川の霞」に該当する場所に作られている。しかも、説明看板を見ると、この道路は土盛りをして作られるようである。

「霞（霞堤）」は、堤防を造らない個所を設け、増水時に川の水がそこに浸水するようにすることによって破局的な被害を防ぐための治水技術である。現在は牛川、下条、賀茂、金沢の4ヶ所に設けられ、2000年以降に限っても数回の大規模な浸水が確認されている。

ただ、設楽ダムの完成後、これらの霞は閉じられる（＝通常の堤防を造る）予定だそう。とすれば、この工事用道路、霞を閉鎖する前段階の工事ではないかではないかと思われる。今後、ここの風景がどう変わっていくのか、注目していきたい。